

## 再評価結果（平成25年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

<b>事業名</b> 地域高規格道路 学研都市連絡道路 一般国道163号 精華 <sup>せいか</sup> 拡幅	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 近畿地方整備局						
<b>起終点</b> 自：京都府相楽 <sup>そうらく</sup> 郡精華 <sup>せいか</sup> 町柘榴 <sup>さくろ</sup> 至：京都府木津川 <sup>きづがわ</sup> 市相楽 <sup>さかなか</sup>	<b>延長</b> 4.6km							
<b>事業概要</b> 一般国道163号は、大阪府大阪市を起点に奈良県北部、京都府南部を横断し、三重県津市に至る延長約120kmの主要幹線道路である。このうち大阪府門真市～京都府木津川市間の約20kmは、地域高規格道路の「学研都市連絡道路」として、関西文化学術研究都市と大阪市および関西国際空港などを結ぶ重要な役割を担っている。 精華 <sup>せいか</sup> 拡幅は、一般国道163号の精華 <sup>せいか</sup> 町から木津川市にかけての交通混雑を緩和し交通の安全を確保するとともに、関西文化学術研究都市へのアクセス性の向上や地域間交流の活発化を目的とした事業である。								
H2年度事業化	S56年度都市計画決定 (S57年度、H17年度 変更)	H12年度用地着手 工事未着手						
全体事業費	224億円 事業進捗率	約6% 供用済延長 0.0km						
計画交通量	25,300 台/日							
費用対効果 分析結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">B/C</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(事業全体) 1.9</td> <td style="width: 15%; text-align: center;">(残事業) 2.1</td> </tr> </table>	B/C	(事業全体) 1.9	(残事業) 2.1	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"> <b>総費用</b> (残事業)/(事業全体)                      172/190億円                      事業費：156/174億円                      維持管理費：16/16億円                 </td> <td style="width: 30%;"> <b>総便益</b> (残事業)/(事業全体)                      359/359億円                      走行時間短縮便益：322/322億円                      走行経費減少便益：29/29億円                      交通事故減少便益：8.9/8.9億円                 </td> <td style="width: 30%; text-align: center;"> <b>基準年</b>                      平成24年                 </td> </tr> </table>	<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 172/190億円 事業費：156/174億円 維持管理費：16/16億円	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 359/359億円 走行時間短縮便益：322/322億円 走行経費減少便益：29/29億円 交通事故減少便益：8.9/8.9億円	<b>基準年</b> 平成24年
B/C	(事業全体) 1.9	(残事業) 2.1						
<b>総費用</b> (残事業)/(事業全体) 172/190億円 事業費：156/174億円 維持管理費：16/16億円	<b>総便益</b> (残事業)/(事業全体) 359/359億円 走行時間短縮便益：322/322億円 走行経費減少便益：29/29億円 交通事故減少便益：8.9/8.9億円	<b>基準年</b> 平成24年						
<b>感度分析の結果</b> (事業全体) 交通量：B/C=1.5～2.3(交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C=1.7～2.5(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.7～2.1(事業費 ±10%) 事業費：B/C=1.9～2.3(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.8～1.9(事業期間±20%) 事業期間：B/C=2.0～2.1(事業期間±20%)								
<b>事業の効果等</b> ①交通混雑の緩和 ・一般国道163号では交通容量が超過しており、整備により交通混雑の緩和が期待。 ②交通安全の確保 ・一般国道163号では、歩道未整備区間が約2割あり死傷事故率が高い交差点が存在するが、整備により歩道設置及び走行性向上によって交通安全確保が期待。 ③地域間交流の活発化 ・周囲の大学等の研究施設、大型商業施設等へのアクセス性も向上し、大阪都心部と京都府南部の地域交流の活発化及び時間の短縮の効果が期待。精華 <sup>せいか</sup> 拡幅間を含む学研都市連絡線の整備により第二京阪道路へのアクセスが向上し、川ノ尻交差点～寝屋川南ICの所要時間が短縮。 (約40分→約24分：約16分短縮) ④新幹線駅へのアクセス向上 ・木津川市～新大阪駅の所要時間が短縮。 (94分→78分：16分短縮 ([学研都市連絡道路等の効果を含む]) ⑤空港へのアクセス向上 ・木津川市～関西国際空港の所要時間が短縮。 (91分→75分：16分短縮 ([学研都市連絡道路等の効果を含む]) ⑥港湾へのアクセス向上 ・木津川市～大阪港の所要時間が短縮。 (86分→69分：17分短縮 ([学研都市連絡道路等の効果を含む]) ⑦日常活動圏の中心都市へのアクセス向上 ・木津川市～大阪市の所要時間が短縮。 (86分→69分：17分短縮 ([学研都市連絡道路等の効果を含む]) ⑧拠点開発プロジェクト等の支援 ・関西文化学術研究都市サード・ステージ・プラン、精華 <sup>せいか</sup> 町第4次総合計画、第1次木津川市総合計画、明日の京都(山城地域振興計画)を支援。								

⑨防災点検要対策箇所解消

- ・一般国道163号の防災点検要対策箇所（山田川橋）が解消。

関係する地方公共団体等の意見

地域から頂いた主な意見等：

- ・平成22年7月、関西文化学術研究都市建設推進協議会（関西経済連合会会長、京都府知事、大阪府知事、奈良県知事、京都商工会議所会頭、大阪商工会議所会頭、奈良県商工会議所会頭、関西文化学術研究都市推進機構理事長より構成）より早期完成の要望を受けている。
- ・平成24年11月、一般国道163号整備促進期成同盟会（木津川市長、生駒市長、四条畷市長、精華町長より構成）より早期完成の要望を受けている。
- ・平成24年11月、国道163号整備促進協議会（木津川市長、笠置町長、和束町長、精華町長、南山城村長より構成）より早期完成の要望を受けている。

府知事の意見：

- ・対応方針（案）のとおり、引き続き事業を推進し、早期の完成に努められたい。

事業評価監視委員会の意見

審議の結果、「国道163号精華拡幅」の再評価は、事業評価監視委員会に提出された資料、説明の範囲において、おおむね適切に進められており、対応方針（原案）のとおり継続でよいと判断される。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

沿線の精華町、木津川市では宅地開発が進み、人口や自動車保有台数は近年でも増加傾向。

現在の進捗状況、残事業の内容等

現在までに用地取得は約17%完了。引き続き事業進捗を図る。

事業の進捗が順調ではない理由、今後の事業の見直し等

引き続き事業を推進し、早期の供用を目指す。

施設の構造や工法の変更等

事業実施にあたり、橋梁形式の見直しや新技術・新工法の活用などによりコスト縮減に努める。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

## 再評価結果(平成25年度事業継続箇所)

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：三浦 真紀

事業名：地域高規格道路 学研都市連絡道路 一般国道163号 精華拡幅	事業区分：一般国道	事業主体：国土交通省 近畿地方整備局
起終点：自：京都府相楽郡精華町柘榴 至：京都府木津川市相楽	延長：4.6km	

### 事業概要図

#### 【位置図】



#### 【概要図】

